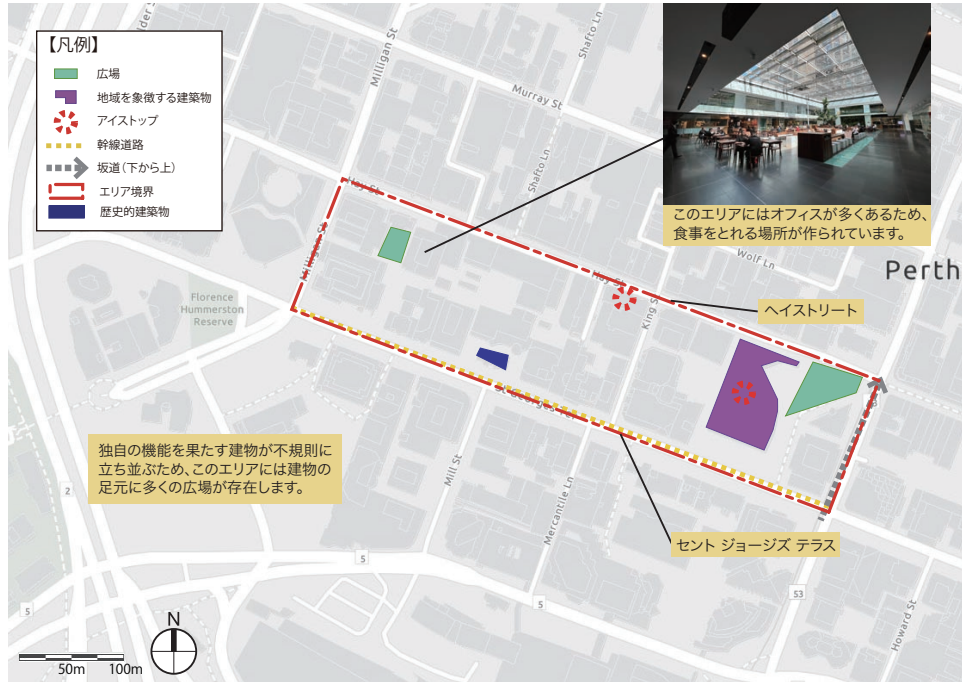


2-7 St Georges Terrace オフィスエリア

このエリアはセント ジョージズ テラス沿いのエリアである。エリア全体に一体性があるわけではなく、それぞれの建物が独立して建っている。セント ジョージズテラスが幹線道路ということもあり、この道路沿いでは建物のつくり、ファサードのデザインが特徴的である。パース ショッピングセンターエリアとの境界の北側ではこのエリアの特徴でもある造形の独自性はもちつつ、高さや片側式アーケードの設置など配慮されたものになっている。

景観特性



1. 独立した造形の建築物



セント ジョージズ テラスが幹線道路であるという点から歩行者に対する建物の開きが行われていません。その地域の建物に一体性はなく、それぞれの建物が独自の機能として建っていることが特徴です。そのため、この地域の建物は高さが異なり、個性的な造形の建物が建てられている特色があります。

2. 街路との関係性を断つ前面



セント ジョージズ テラス沿いの地域はこの通りが幹線道路であるということもあり、道路と建物が連続していません。そのため、エントランスが数段階を上がるつくりになっている建物が多いことが特徴です。また、写真の様に1階部分のみセットバックされ、柱がむき出しになっている構造のものも多くみられます。

3. 周辺エリアに配慮したファサード



エリア北側のヘイストリート沿いの地域はパースショッピングエリアと隣接する地域です。隣接するパースショッピングエリアは低層で歴史的な造りの建物が多くあるため、当エリアのヘイストリート沿いの地域ではそれに準じた建物が多くみられます。また、片側式アーケードも多くあるのでそこにも合わせた建物がが多いのが特徴です。

景観形成の特徴

1. 独立した造形の建築物

- 都市計画上で大きく制限がされていないため建物のファサード、高さの統一感がない。
- 建物の用途が異なるため建物によってエントランスも統一感がなくなっている。



建築物の高さの統一感がない

具体的な保全策

- グランドレベルの使用用途がオフィスの場合是一段上げる、飲食店の場合は歩道活用のためにグラウンドレベルでエントランスをつくる。



統一感のないエントランス

2. 街路との関係性を断つ前面

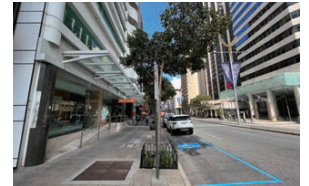
- セントラルパークは道路レベルよりエントランスをあげることで幹線道路のスピード感とは切り離された落ち着いた印象がある。
- 歩道と車道の間には街路樹が植えられていることで、役割を区分している。



GLより高い位置にあるエントランス

具体的な保全策

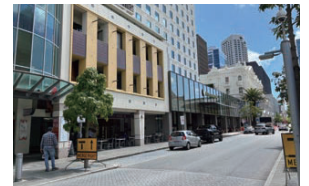
- 安全面を考慮し視認性を確保するために、街路樹が大きく育ちすぎないようにする



歩道と車道の間にある街路樹

3. 周辺エリアに配慮したファサード

- 隣接するエリアの建物同様に片側式アーケードを設置し、ペDESTリアンフレンドリーに努めている。
- 建物のがヘイストリートになじむよう、ファサードのつくりを古風なつくりにした看板建築になっている。



1階部分をセットバックした疑似アーケード

具体的な保全策

- 現在ファサードの様式がそろえられていない建物は建て替えの際に似た様式になる努力をする
- オフィスビルが立ち並ぶエリア特性は残しつつ、隣接するエリアとの調和に努めるために本エリア側は片側式アーケードではなく、1階部分のセットバックを行う



エリアに調和するための看板建築